

かいかき通信

2012.12
vol.04

彦根市立病院は、移転新築 10 年を迎えました



大規模災害訓練の様子



住みなれた地域で健康をささえ
安心とぬくもりのある病院

CONTENTS

あいさつ	1
医療安全推進室の活動紹介	2
院内楽楽(たのらく)通信	3
知って得する病気の話—C型肝炎について	5
知って得する病気の話—水虫について	7
くる人、ゆく人	9
緩和ケアかわら版	10
院内探検隊—緩和ケア科	11
院内探検隊—血液内科	12
訪問看護ステーションのお仕事	13
がん相談支援センターからのお知らせ	14
ようこそ栄養科へ	15
看護部だより「スマイル」	16
きらきらコメディカル—薬剤部	17
医療社会部だより	18
コラム	19
ご意見番より	21
これであなたも10歳若返る!?—健康体操	22

- 1 湖東保健医療圏の総合的医療センターとして
高度な医療を提供する
- 2 安全性、信頼性の高い良質な医療を提供する
患者の権利と満足度に配慮した
- 3 患者中心の医療を提供する
- 4 地域の病院・診療所と役割を分担し、
保健・福祉分野を含めて連携・協力する
- 5 教育・研修機能をもつ地域に開かれた病院を
めざす



120年の歴史を次代につなぐ

局長 長崎隆義



一世紀を超える歴史を刻んできた本院の歴代病院長や在籍した病院職員に脈々と受け継がれてきた想い、それを凝縮した言葉が「住みなれた地域で健康を支え、安心とぬくもりのある病院」という本院の基本理念です。その基本理念を大切に、湖東保健医療圏唯一の公立病院としての使命を果たしながら、その歴史を、想いをさらに次代に引き継がなければならぬと思っています。

病院事務局は患者さんの診療に直接かかわることはありませんが、病院の収入に直結する診療報酬の請求や職員の人事、給与に関する業務、経理事務や経営分析、資材や医薬品・医療機器の調達、施設の管理、広報紙やホームページでの情報提供などを担当し、病院が組織としてスムーズに機能するための役割を担っています。

その中で患者さんや患者さんのこ

家族からのご意見やご要望は、院内に設けております意見箱やそれぞれ年二回実施させていただいております外来満足度調査、入院満足度調査でお聞きし、必要な病院施設の改善、患者さんに対するサービスや接遇の向上につなげていく取り組みを進めています。

さて、平成37年（2025年）には、日本の高齢者人口が約3,500万人に達すると推計されています。

こういつたことから、厚生労働省では、病院や施設中心の医療・介護から可能な限り住み慣れた生活の場で必要な医療・介護サービスが受けられる社会を目指すとして、予算や制度、診療報酬や介護報酬などを総動員するとしています。具体的には「入院医療では早期退院を目指す」「在宅生活（療養）の限界点を高める」「在宅生活における看取りを強化する」といったように施設・病院から地域・在宅への流れを加速

させようとしています。

こういつた中で彦根市の、湖東地域のこれからの医療体制をどう整備していくのか、そこで本院の果たす役割はどうあるべきかを市の内部はもちろん医師会・歯科医師会の皆さん、彦根保健所はじめ圏域内の行政・病院など関係者の方々と、そして、市民の皆さんとともに展望していく必要があります。

時代の環境変化に対応した医療を提供しながら市民の皆様の信頼を得ていくこと、将来の患者さんのニーズに対して応える準備を怠りなく行っていくこと、そして自治体病院の使命である地域に不足している医療に積極的に取り組んでいくということが、創立一二〇年を超えた今、本院に求められていると考えています。

今後とも市立病院に対しまして、皆様の温かいご指導、ご支援をお願いします。

医療安全推進室の活動紹介

1999年1月11日、横浜の大学病院で医療の安全神話を揺るがすような手術患者取り違い事故が発生しました。この医療事故がきっかけで、日本の医療安全対策が急速に進みました。本院も、2003年に医療安全推進室を設置し、これまでにさまざまな安全対策や活動をおこなってきていますので、活動などの一部をご紹介します。

◆ 安全管理会議・安全パトロール

毎週水曜日に院長中心に医療安全に関する会議をおこなっています。また、定期的な安全パトロールは、予防対策の実施状況を確認したり、医療現場に潜むリスクをとらえたりします。パトロール隊長は院長で、職員の医療安全意識の向上につながります。



安全管理会議



パトロール

◆ 院内医療安全週間・職員の医療安全研修

毎年7月末は院内医療安全週間としています。院外講師による講演や、職員の医療安全活動などを発表し、安全意識の向上を図っています。

◆ 医療安全に関する想定訓練

患者さんの急変の場面を想定して、家族役・医師役・看護師役などを職員が演じ、いざという時に対応できるようにシミュレーション研修をおこないます。

アナフィラキシーショック発生



◆ 患者さんの名乗り・患者認証システム

患者さんにも参加していただく医療安全として、診察や検査の時に、患者さんが名前を名乗っていただくことで、患者さん間違いの防止になります。また、入院中は、ネームバンドを手首に付けていただきますが、点滴をするときなど電子カルテ上で患者さんと薬剤とを照合してから開始し、間違い防止をしています。



患者さんの名乗り



認証システム



谷口 孝二

院内楽々通信

平成24年度

彦根市立病院大規模災害訓練について



彦根市立病院DMAT 外科部長 安田 誠一

平成24年度の院内大規模災害訓練は11月10日に行われた。昨年の訓練では災害本部の立ち上げに重点をおき、本部の立ち上げそのものは順調であったものの、ホワイトボードの活用方法については多少の混乱があり、訓練後の振り返りでも課題の一つとして挙げられた。このため本部や各エリアにおけるホワイトボードの書式について具体的に検討することから始め、8月にはいくつかの案がまとまった。また、実際の災害時に多数の傷病者を収容し治療するためには、いかに円滑に治療の必要な傷病者を院外に搬出するかが非常に重要であるが、これは今までの訓練ではあまり重点をお



いていなかった部分でもあり、今回は傷病者の搬出を主眼においた訓練を行うことに決定した。

実際の状況にできるだけ近づけるため、消防の方にも本部に入っていたら、消防と連携して搬送可能病院の情報を本部に伝え、その情報に基づいて傷病者を搬出す

ることとし、さらに搬出待機エリアから救急車という搬出ルートだけでなく、ヘリポートからの搬出についても慣れておく必要があると考え、傷病者を実際にヘリポート前まで運ぶところまで行うこととした。

入院については、今回は搬出を中心に考えていたため少なめの設定であったが、今回初めての試みとして電子カルテで入院患者の決定オーダーの入力まで実際に行うようにした。傷病者役については、臨場感のある訓練を行うためには、ある程度の専門知識が必要であり、今までも協力をしていただいていたことのある京都橘大学に依頼したところ、快く協力していただき救命救急士志望の2年生40名に傷病者役として参加していただけることになった。





こうして訓練当日を迎えることになったが、初めて訓練に参加される方が多かったせい、本部の立ち上げにかなり時間がとられる結果となっていました。参加人数が少なかったこともあり色々なところで人員不足の状態となったり、黄色エリア（治療待機エリア）から患者情報カードが届かず黄色エリアの状況が本部に入っていないというトラブルはあったものの、本部間の連携もとれており、大きな混乱に陥ることはなく十分本部機能を果たせていたもの

と思われる。

当初は搬出待機エリアの立ち上げがないまま傷病者が搬出される状況となり、かなり混乱を生じることが予想されたが、途中で搬出待機エリアが必要であると判断し、人員の再配置で搬出待機エリアを立ち上げることができた。20名程度の院外搬出という多めの設定であったが時間内に12名の搬出を行うことができ、

人員不足であった

ことを考えれば当初の目標はある程度達成できたのではないかと考えている。

ホワイトボードについては、治療エリアにおいては我々の案どおりの書式で使われていただき一定の成果があったが、本部では我々の案を採用して頂けなかったことが残念であり今後の課題として残されることになった。

それ以外にも訓練後の振り返りでは様々な貴重な意



見が出され、今後の訓練を行う上で大変参考になった。今回の訓練を通して、やはり本部の立ち上げをいかに効率的かつ確実に行うかが一番大きな課題であり、各自マニュアルを読んでいただけでは不十分であることを再認識した。机上訓練も取り入れながら訓練回数も増やすことで改善していきたいと考えている。

最後に休日にもかかわらず遠方からわざわざ訓練に参加していただいた京都橘大学の学生さんを始め、お忙しい中多くの方々に参加していただき有り難うございました。



☆知って得する病気の話

C型肝炎について

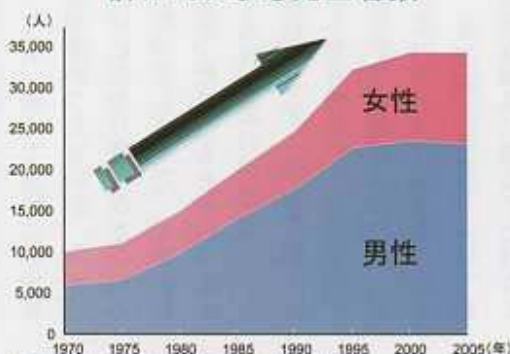


内科 医長 仲原 民夫

今回は、まだ日本中で自分が感染している事を知らない患者さんが大勢おられ、また滋賀県では約1万5千人から2万人が感染していると推定されています。C型肝炎と、その治療についてお話しします。

C型肝炎ウイルスに感染していると、症状が乏しくても炎症が続きます。自覚症状がほとんどないため、見過ごされがちですが、炎症が進むと肝臓が硬くなるいわゆる肝硬変の状態となり、肝硬変からは高い確率で癌が出てきます。

肝がんによる死亡者数



本邦の原発性肝がんによる死亡者数はこの30年間で約3倍に増加し、現在、年間3万5千人に達しようとしている。

国民衛生の動向 2005年 第52巻第9号

肝細胞癌の背景病変



(第15回原発性肝癌登録調査報告)

近年肝臓癌で亡くなりになる方が年々増える傾向にあり、年間3万5千人程度といわれています。肝臓癌の7割程度はC型肝炎が原因の為、早期発見と治療が大切となります。

検査はまず血液中にウイルスに対する抗体があるかを調べます。陽性であれば次にウイルスの量を調べ、肝臓の機能を血液検査し、お腹のエコーやCTなどで肝臓の状態を視覚的に検査します。場合によっては肝臓の組織を採らせていただいて精密検査をします。

C型肝炎慢性肝炎の方は安静にする必要はなく、運動制限もありません。

C型肝炎ウイルスは体液や血液を介して感染しますので、家族や周囲への感染予防のため血液のつく可能性のある歯ブラシや髭剃りなどは使い回しをしないでください。しかし、食器の共用や入浴などの日常生活で移る心配はありません。

日常生活の注意点

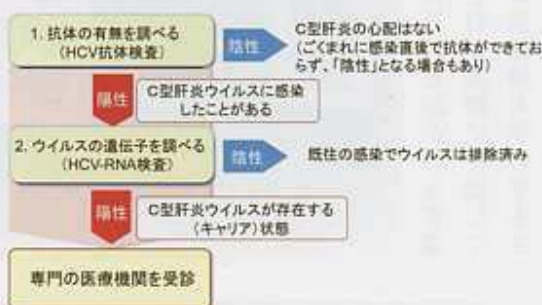
■ 安静について

- 慢性肝炎の方は安静にする必要はなく、運動制限も必要ない

■ 家族や周囲への感染予防

- カミソリ、ひげそり、歯ブラシの共用は厳禁
- 食器の共用や入浴では感染しない
- C型肝炎ウイルスは性交渉ではほとんど感染しないが女性が感染している場合、生理中とその直後はひかえる

肝炎ウイルス感染の検査方法



治療法には大きく分けて2つの種類に分かれます。一つはウイルスを攻撃して治療するインターフェロン治療と、それが効かない、もしくは使いづらい状況のときに肝臓を守る底層療法（ウルソなどの飲み薬や強ミノといった注射の薬）の二つです。

近年インターフェロン治療は飛躍的に進歩しています。現在の標準治療である、週1回のインターフェロンの注射と内服の抗ウイルス剤2種の併用療法は治療成績が高く、効きにくいグループでも70%が完治します。治療効果があれば発癌の危険性を下げる事もわかってきているためC型肝炎に感染していることがわかれれば是非、積極的に治療に取り組んでください。

インターフェロン治療は非常に有効ですが、やはり副作用もあります。

実際患者さんにご協力いただいたアンケートの結果でも、副作用が心配とか不安だ、との回答が多い現状がありました。

C型肝炎の治療方針



病・医院における肝臓病の診断の流れ

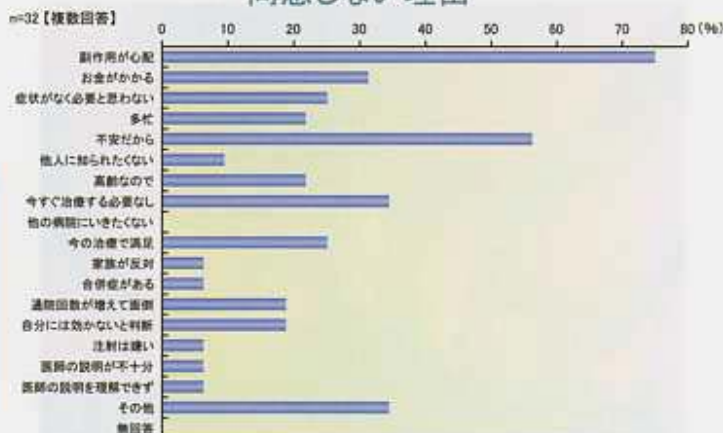


しかし治療環境の進歩と共に副作用への対処法も進歩している為、早めに対処することが可能で、症状を緩和することによって治療を継続できるようなっています。

数年前よりウイルス排除を目的としたインターフェロン治療に対して国と県から助成金が出る制度がスタートしています。

しかも制度が始まった当初より自己負担額の減額や適応の拡大もあり、以前と比べて治療を受けやすい環境となっているといえるでしょう。詳しいことは保健所や、かかりつけの診療所もしくは病院で尋ねてください。

インターフェロン治療に同意しない理由



医療費助成受給までの流れ



厚生労働省ホームページ「新しい肝炎総合対策の推進」

医薬品産業政策研究所 リサーチペーパーシリーズNo.32

☆知って得する病気の話

水虫について

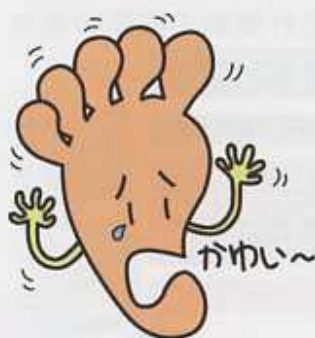
皮膚科 医長 山本 文平



水虫はほとんどの人が聞いたことのある病気だと思います。しかし、「水虫は治りにくい」位のイメージしかない方がほとんどだと思います。ここでは、水虫について少し詳しく見ていきたいと思います。

白癬菌とはどんなものか

白癬菌は「カビ」の一種ですが、通常のカビと少し違います。白癬菌は「ケラチン」というたんぱく質を主な栄養源として生活しています。ケラチンは毛と体表面の角質に存在するので、「通常の足につく白癬菌」が寄生できる場所は皮膚表面と髪の毛のみです。体の中に入ってくることはありません。皮膚表面と毛につくカビと違っていただければいいと思います。



白癬の分類

人間につく白癬菌は2種類の菌がほとんどを占めています。しかし、ジユクジユク水虫、かさかさ、水疱型などいろいろな形態があるのはなぜでしょうか？実は感染される人間の免疫力で症状に違いが出るのです。白癬菌に敏感に反応する人の場合、ジユクジユクしたり、水疱ができたりします。反対にあまり反応しない場合かさかさだけで、痒くありません。このかさかさ水虫は痒くないので、水虫だとは気付かないため、見逃されています。



© 社団法人日本皮膚科学会

ジユクジユク水虫



水虫の治療

水虫は治りにくいという話を聞いたかたは多いと思います。どんなに良い薬が出ているのになぜ治りが悪いのでしょうか？理由は2つあります。1つめは外用期間の不足。2つ目は外用範囲の不足です。白癬菌は薬を塗ると死んでいきます。かゆみも取れます。しかし、ここで分生子、胞子といった状態（種みたいなもの）で耐え忍んでいるものがあります。外用をやめるとそこからまた復活してきってしまうのです。最低2か月、できれば4か月外用すると再発しにくくなります。また痒くない場所にも広めに塗るのが重要です。痒い所以外でも、白癬菌は少数存在しており、痒いところだけ治しても生き残ったところからまた拡大してしまいます。広めに、長めに塗っていくというのが水虫治療の基本です。



予防

水虫を治すのは意外とめんどくさいです。では予防はどうしたらいいのでしょうか？

まずお風呂、水虫は通常皮膚に付着してから1日以上かかって感染します。毎日入浴して足を洗っていただければまずうつりません。しかし、足に傷があると半日で感染してしまいます。

足が荒れているときは早めに洗うなどしていただければ感染の機会を減らすことができます。また掃除、洗濯は普通にしていただければ問題ありません。足の荒れに心をこし配って清潔にしていきましょう。

水虫は身近ですが、なかなか厄介なものです。

チョットした気配りで水虫をやっつけていきましょう。



水疱型



カサカサ水虫

くる人、ゆく人

この度、彦根市立病院に赴任いたしました。
どうぞ宜しくお願いいたします。

一人でも多くの患者様が笑顔でお家に
帰れるよう力を尽くしたいと思います。
よろしくお願いします。



循環器科 部長
中野 顕 医師 (平成2年卒)

- ◇趣味: ゴルフ
- ◇最近嬉しかった事: iPhone 5 を手に
入れた事
- ◇座右の銘: 至誠天に通ず

長浜生まれですが、大学入学以後
ずっと他府県で仕事してきました。久
しぶりに帰ってきた滋賀彦根の地で、
市立病院および地域医療に貢献したい
と思います。よろしくお願いします。



脳神経外科 部長

岩室 康司 医師 (平成4年卒)

- ◇趣味: 家事一般
- ◇最近嬉しかった事: 17年ぶりに、車と自転車を購入したこと
- ◇座右の銘: 気は心

滋賀医科大学附属病院小児
科、NICUを経て、
彦根にやってきました。
彦根の周産期医
療に貢献できれば
と思います。よろ
しくお願いします。



内科 専攻医

田辺 理恵 医師 (平成21年卒)

- ◇趣味: 水族館めぐり、サッカー観戦
- ◇最近嬉しかった事: 結婚して料理のメニューが
増えたこと
- ◇座右の銘: 随処作主

滋賀出身にも関わらず、彦根には初めてやって来ました。歴史ある
この町で、地域の方の力になれるように励んでまいります。



小児科 専攻医

梅原 弘 医師 (平成21年卒)

- ◇趣味: ドライブ、旅行
- ◇最近嬉しかった事: 600gで生まれた超低出生
体重児が元気に退院を迎えたこと
- ◇座右の銘: 塞翁が馬



薬剤部

小水 美佳 薬剤師 (平成21年卒)

- ◇趣味: スノーボード
- ◇最近嬉しかった事: 新しい靴の履き心地が
予想以上によかった
- ◇座右の銘: 特になし

生まれも育ちも彦根で、
大学の6年間は金沢で過ご
しました。地元でお世話に
なった方々の役にたてるよ
うに頑張ります。よろしく
お願いします。



放射線科

上村 三四郎 技師 (平成22年卒)

- ◇趣味: ピアノ
- ◇最近嬉しかった事: 納豆が食べられる
ようになったこと
- ◇座右の銘: 果報は寝て待て

大阪大学を卒業して診療放射線
技師になりました。職場を通し
て人間的に成長したいと思います。
よろしくお願いします。



脳神経外科 専攻医

宮田 武 医師 (平成21年卒)

- ◇趣味: ギター、音楽鑑賞
- ◇最近嬉しかった事:
妻とのゆっくりした時間
- ◇座右の銘: One for all, all for one

大阪府出身、和歌山県立医大を卒業後、西は姫路、東は
静岡と様々な施設で研鑽を積ませて頂いています。地域の
皆様の信頼を得られるように日々精進して参りたいです。

花しょうぶの会

21家族35名のご遺族が参加して下さいました。フルーツ・ピア / 鑑賞や思い出の写真のスライドショーを見て頂き「今日まで泣く事が出来なかったが来てよかった。最後の日々を8B病棟で送れたことは幸せだった。」と笑顔で帰って行かれました。



子ひつじのアニマルセラピー



◎院内探検隊◎

—緩和ケア科—

皆さんこんにちは。今回は緩和ケア科を紹介させていただきます。

緩和ケア科は新病院に移転したときに新しく作られた科です。緩和ケアは、よく末期がんの患者さんを診るところだと思われがちですが、実際には抗がん剤治療中の患者さんや、今は元気だけれども将来の再発への不安を抱えている患者さんなども診ています。また患者さんのみならず、そのような患者さんの家族を支えていくのも緩和ケアの大切な仕事のひとつです。さらに、たとえ末期でもまだあきらめたくないと思っている患者さんに対しては、その希望を支えるために丸山ワクチンをはじめとする免疫療法なども行っています。

一方、当院の8B病棟は緩和ケア病棟になっており、ここでは痛みをはじめとする身体的苦痛の緩和はもちろんのこ



緩和ケア病棟スタッフのみなさん

病棟の特徴のひとつです。例えば、アロマセラピーやマッサージ、カラーセラピー、音楽療法などを取り入れており、毎日のようにボランティアの方々から、患者さんの心や体を癒してくれています。また、毎月レクリエーションの催しも行っており、お菓子やお茶を楽しみながら、ミニコンサートや小物を作ったりしています。10月には一階のリハビリテーション前の庭園で羊と一緒に過ごすという企画を行い、患者さんや家族からとても好評でした。

また緩和ケア病棟では、患者さんを全体的な視点からケアしていくことが求められるため、看護師さんや看護助手さんをはじめとし、栄養士、薬剤師、ケースワーカー、理学療法士、作業療法士など、多くのスタッフの協力も必要不可欠です。また昨年からは、秋宗緩和ケア認定看護師を中心とした緩和ケアチームとしての活動もしており、緩和ケア病棟のみならず、一般病棟のがん患者さんのケアにも努めています。



緩和ケアチームのメンバー

神的苦痛にも対処しています。また患者さんに安らぎや希望を持ってもらえるよう、様々な工夫や取り組みを行っているのも緩和ケア

田村先生

黒丸先生



医師紹介

当院緩和ケア科の医師は常勤医師の黒丸尊治と非常勤医師の田村祐樹先生です。田村先生は、月1回病棟の手伝いに来て頂き、それとは別に月2回、サイモン療法外来（がん患者さんやその家族の心のケアを通して、がんの治療が良い方向に向かうことを支え手助けするための療法）も受け持っていて頂いております。

◎院内探検隊◎

—内科（血液）—

血液内科とは、白血球や赤血球、血小板など血液の成分の質や量の異常、またこれら血液細胞を造る（造血する）骨髄、リンパ節に起こる病気を担当する診療科です。

とくにいろいろな貧血、出血傾向（血の固まりにくさ）、血液やリンパ節の悪性腫瘍（白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫）などを担当します。

女性に多くみられる鉄欠乏性貧血に対する治療から、白血病に代表される悪性腫瘍に対する抗癌剤による化学療法、さらには骨髄移植に代表される造血幹細胞移植療法まで私たちは行っています。

白血病や悪性リンパ腫など血液悪性腫瘍に対する化学療法は長期にわたるため肉体的、精神的そして社会的な苦痛を伴います。私たちはそういった苦痛を少しでもやわげるため週に一度



様々な医療スタッフによる合同カンファレンスを開いています。医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師など様々な専門家が集まり、苦痛なく入院生活を過ごしていただき元気に退院されるよう日々努力しています。



「ちょっとした労作で息切れやめまいなどを自覚する」「頸部や腋下、股の付け根などにしこり（リンパ節）を触れる」「青あざができやすかったり、鼻血が止まりにくい」「原因不明の熱がずっと」「健康診断で貧血や白血球増多、血小板減少などを指摘された」これらの症状がある方はまずはお近くの医療機関に相談されることをおすすめします。



訪問看護ステーションのお仕事



自宅での看護



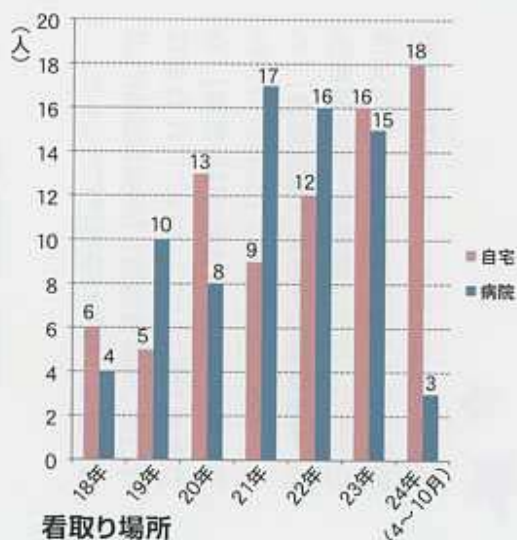
お散歩タイム



疾患別人数



訪問看護延べ人数



看取り場所

がん相談支援センターからのお知らせ

彦根市立病院市民公開講座を開催しました

当院が厚生労働省から、地域がん診療連携拠点病院の指定を受けて4年が経ちます。

この地域がん診療連携拠点病院の役割のひとつでもある、「地域の皆様にがん医療の提供を行う」ために、今年も市民公開講座を開催しました。

大腸がん、肺がん、胃がんに続き、今年のテーマは「乳がん」でした。現在、乳がんは日本人女性が最もかかりやすいがんです。その数は年々増加し続けています。今では18人に1人が乳がんにかかっています。

そこで今回、当院外科の寺村副院長に「乳がんが見つかったら」というお話をいただきました。

当日は、気持ちのいい秋晴れの
中、約30名の参加がありました。

今回は「乳がん」というテーマ
だけあって、参加者の多くは女性
の方でしたが、ご夫婦で来てくだ
さった方も数名おられました。ま
た、アンケート結果によると、年
齢層も40代、50代の若い方が多
く、市外からの参加も多かったよ
うです。

「乳がん」の種類、診断までの
流れ、治療法などとてもわかりや
すく解説していただき、参加者の
みなさんは、メモをとりながら熱
心に耳を傾けておられました。1
時間の講演時間も「短く感じた」
との声もあり、皆さんのがんに対
する関心の高さが伺えました。

また、講演終了後には、会場か
ら直接寺村先生に質問をする時間
も設け、内視鏡治療のこと、乳が
ん検診の年齢的なものなどの疑問
に、ていねいに回答をしてくださ
いました。



乳がんは早期発見が重要です。

2年に1回の乳がん検診、また、
月に1度は自己検診を行い、異常
を感じたらすぐに病院へ行くこと
が大切です。

先生のお話の中に、来月、湖東
医療圏で初のマンモトムという
機器が当院に導入されるとい
う情報もありました。これにより、小
さな傷で、確実な診断が可能にな
るそうです。

今後も、当院では地域の皆さん
に安全で質の高いがん診療を提供
するとともに、より多くの有用な
情報をお届けしていきたいと思っ
ております。



秋の地産地消メニュー

当院では、地元食材を使用したお料理を定期的に提供しております。
平成24年10月29日の地産地消メニューを紹介します。

～煮物～ 出回り初めの旬の品 カブ（能登川産）の煮物 	～小鉢～ 砂地で栽培したやわらかな里芋で 里芋（彦根産）のとも和え 	～果物～ 地元の逸品 柿（彦根産） 
		
～ごはん～ 地元滋養の新米を使用 あきの詩 		～主菜～ 滋養で育った豚を使って ミルフィーユかつ（滋賀県産豚）

＝ようこそ、栄養科へ＝

地産地消とは・・・地域生産地域消費の略語。

その地域で採れたものをその地域で消費することです。

生産者と消費者の距離が近いので、新鮮なものが手に入り、輸送にかかるエネルギーも削減できる、自然にやさしい食べ方です。

★ 入院患者さんからも、おいしかったとのお声をいただきました！ ★

栄養科
砂畑管理栄養士（東テストバール）



皆さんに喜んでいただける食事をめざしてスタッフ一同頑張っております。またこのようなイベントを定期的に計画しております。

地産地消メニューはおいしかったですか？
総数119人（10月29日実施）



かぶ、やわらかいのにおどろいた。柿、甘みが少なく歯ざわり良い。

全体的に味付けは旅館より良好。

肉がやわらかく食べやすかった。

看護部だより 「スマイル」



皮膚排泄ケア認定看護師
西村 紀子

「褥瘡院内発生ゼロ」記録更新を
目標に活動しています」



院内学習会の様子

皮膚・排泄ケア認定看護師とは褥瘡（じよくそう）や手術後の傷のことや尿や便に関することを専門的に扱う看護師です。当院には現在2名の皮膚・排泄ケア認定看護師が在籍し、褥瘡をはじめとした種々

の皮膚障害の発生を予防するために日々活動しています。

褥瘡は別名、床ずれ。と言われるように、その発生には圧迫だけでなく、ずれが大きく関わっています。この圧迫とずれを軽減し褥瘡発生を予防するためには褥瘡を予防するためのマットレス、例えばエアマットを使用していればそれで十分と言えるでしょうか。答えは、NOです。

もちろん適切な褥瘡予防のためのマットレスを使用することも重要なことですので、当院では軽度・中等度・高度の体圧分散効果を持つマットレスを整備しており、個々の患者さんの褥瘡発生の危険度に合わせて適切なマットレスを選択しています。特に褥瘡発生のリスクが極めて高い患者さんがおられた場合に必要となる高機能エアマットについては、レンタルシステムを採用することで必要な時にはいつでも使用できる体制をとっています。

褥瘡を予防するためのスキンケアの基本は、清潔保湿保護です。このスキンケアの基本に則り、褥瘡の好発部位である仙骨部周囲を丁寧に泡立てた石鹸で洗浄し、皮膚の保湿保護のために予防的にワセリンを塗布するというを開始しました。その他にもオムツ内排泄をされる患者さんの排泄後の処理をする際に拭き取りによる刺激を少なくし皮膚を保護できるようにケア用品を用いることや、特にデリケートな皮膚の患者さんには皮膚を保護する皮膚被膜剤を使用するようにケア用品を整えマニュアル化しました。



このようにハード面を整えケアの底上げを図るとして、入院中の患者さんに褥瘡が発生することは殆どなくなりました。当院のような急性期病院における褥瘡発生率は全国平均で0.3%程度とされていますが、当院のご数年の褥瘡発生率は0.01%以下という全国平均を遥かに下回る数字を維持しています。これは先に述べたような取り組みの結果であり、地域に誇れることであると思っています。

しかし、わずかではあります当院に入院中に褥瘡が発生する患者さんはおられます。これらの患者さんに対して褥瘡を発生させないためにはどうすればよいのか？発生してしまった褥瘡を治すにはどうすればよいのか？ということを個別に考えてケアを行うことができるようスタッフ教育を行っています。病院内の各部署にはスキンケアリンクナースと言われる看護師がいて、このリンクナースを中心にそれぞれの部署の特殊性に合わせた褥瘡予防活動を行っています。例えば患者さんに褥瘡発生に効果的で安楽な姿勢を提供したいという思いからポジショニングクッションと言われるクッションをスタッフみんなで協力し合い手作りしています。



ポジショニング クッション

薬剤部

チーム医療におけるファーマシューティカルケアの実践

薬剤部長 小財 郁男

薬剤部は、薬剤師十三名、その他七名（委託含めて）のスタッフで日常の業務を行っています。

薬剤部の業務としては、入院・外来調剤をはじめ、抗がん剤レジメンのチェック、抗がん剤の無菌調製（外来・入院）、処方箋の疑義照会、定期薬の個人別服用時毎セット、通常注射の個人別セットおよび注射の一回分セット等、医療事故防止や安全性につながる取り組みに重点をおいて行っています。

持参薬に関しては、鑑別し電子カルテ端末より持参薬報告書を作成しています。
病棟においては、薬剤管理指導業務を中心に、入院患者さんへの服薬指導、処方の適正化、薬品の期限管理を行っています。

また、六年制薬学生の十一週間の実務実習を受入れ、今年度は、Ⅰ期三名が終わり、現在Ⅱ期三名を受け入れ、Ⅲ期には三名を受け入れる予定です。
地域の薬剤師会とは、研修会を通じて連携をとっています。

今後は、四月に新設された病棟薬剤業務の実施を目指し、多職種と連携をとり、チーム医療に貢献するために一層の努力をしています。（2012年11月現在）

「補足」ファーマシューティカルケアとは、チーム医療のスタッフの一員として、薬剤師が調剤と患者への服薬指導のみに関与

抗がん剤の調製



定期薬の個人別服用時毎セット



実務実習生との交流会



実務実習生の製剤実習



することで終わるのではなく、医薬品が適正に使用されているかどうかをチェックし、効果や副作用の評価を行い、処方へのフィードバックにつなげるという一連の薬のケアを意味します。

医療相談室は、どんな業務をしているの？

スタッフ紹介

彦根市立病院は、専門的な治療である急性期医療を中心に行う病院です。本院では、患者さんやご家族の戸惑いや不安、また、今後のことなどで悩まれたとき、ご相談を受ける病院の窓口が「医療相談室」です。

スタッフをご紹介します。

藤居室長 30年以上の看護経験をもとに皆さんとお話をしながら、「一緒に考える」ことを大切にしています。退院調整と在宅支援を主に活動しています。

松井看護科長 小児科経験が長く、主に小児の支援をしています。

乾医療ソーシャルワーカー 社会福祉士として多くの経験を活かし、皆さんのお話をお聞きし、課題の解決に向け支援している超ベテランのワーカーです。

藤井医療ソーシャルワーカー 本年から、がん支援センターの担当をしつつ、入院中の患者さんやご家族に幅広く支援しています。

澤医療ソーシャルワーカー 豊富な知識と経験を活かし、細やかな気配りを忘れず支援しています。

田中医療ソーシャルワーカー 地域における幅広い経験を活かし、患者さんやご家族の立場になって、適切な支援をしています。

小村事務員 関係書類の整理・保管の他、来室される患者さんやご家族、また、地域の方々の窓口対応をしています。

まずは、気軽にご連絡ください。場合によって、面談の予約をとっていただくことがあります。



このような業務を行っています。

病気に伴っておきる様々な療養上、生活上の諸問題に対してご相談を受けることで課題の整理のお手伝いをしています。内容により社会保険や福祉サービスなど社会保障制度を利用し地域の関係機関との連携を図り支援します。

主な内容としては、下記のご相談に応じています。

在宅療養や介護相談

退院後の相談

経済的な相談

療養上の相談

かかりつけ医や往診などの相談

入院や外来を問わず、地域でお住まいの方々の支援を、医療の立場・福祉の立場・保健予防の立場でのご相談や支援を行っています。



保健所と医師会主催シンポジウム参加

☆開業医の先生方やケアマネージャー・訪問看護師や病院の医師・担当者などと検討会をしています☆

地域との連携…ネットワーク!!

医療相談室では、湖東地域の近隣の病院や行政との連携・ネットワークの強化を図り、地域の訪問看護ステーションやケアマネージャーとの連携、また、開業医の先生方との連携を強化しています。共同で講習会・研修会を開催しています。

安心して、地域でお過ごしいただくため、「点と点」「人と人」「病院と地域」は、つながっています。

モンゴル遊牧民の村 ハトガルから

彦根市立病院 顧問 林 進

少し前になりますが、健康調査団に参加してモンゴル遊牧民の村を訪ねました。少々荒っぽいですが、日本人が農耕民族であるとするモンゴル人は遊牧民族です。大相撲での活躍は誰でも知っていますが、モンゴルの自然や人々の生活などについてはまだまだ知られていないと思います。今回の調査紀行で、見聞し、経験したことの一部を紹介したいと思います。

行った先は、まずはシベリア森林地帯に近い遊牧民の基地ハトガル村です。車でむかう途中、琵琶湖とその周辺がスッポリと入るほどの草原が次々と現れます。遊牧中の数家族とその周辺の馬と羊の点影を遠くに見るだけです。季節は夏の終わり、草原の空気は穏やかで、ハーブの冴えた香りに満ちていました。遊牧民のテント（ゲル）に立ち寄りその長から馬乳酒をたっぷり振舞っていただきました。ここには、バイカル湖の水源となるフブスグル湖という透明度が高いことで有名な大きな湖があり、これが緑で滋賀県となにかと交流がありました。モンゴルといえば草原ばかりがイメージされますが、自然のままの森林や湖沼があり、河川には、日本では幻の魚と言われる巨大なイトウが生息しています。余談ですが整形外科の赤池先生がガイドをつれてこの地方に入り、1



メートルを超えるイトウを数匹釣り上げました。警戒したのは狼だったそうです。南へ行くとゴビの砂漠です。ここには野生の駱駝（らくだ）や馬があり、紫水晶の巨大な洞窟があったり、恐竜の化石が出ることも有名です。私も恐竜の卵の化石をお宝に大切にしています。モンゴルはともな変化に富んでいて、まるでハリポッターの「魔法界」のようです。さて、村に入ってまずは役場で村長に敬意を表し、持参のおみやげの紅茶のティーバッグをお渡ししました。村長は重々しくうなずき腰から鍵鎖をだして戸棚を開け私たちにどうぞとかわい色紙でつづまれたキャンディを勧めてくれました。村の学校（11年制）にも挨拶に行きました。丁度、9月新学期の始業式の日で、校庭は親子を乗せてやって来た馬で溢れていました。校長先生の指名で、壇上から挨拶することになり、困りました。「ここから、東に向かってどんどん行くと海があります。その海をまたどんどん東に行くと島が見えます。そこが日本です。そこからやってきました。日本では、ここよ



モンゴルの手術室

り太陽が2時間も早く昇るので、皆さんよりいつも早起きです。」など、とんちんかん内容でしたが、盛大な拍手をいただきました。次に、村を横切って診療所に向かいましたが、一軒々の屋敷がとてつもなく広いことに驚きました。聞いてみると、屋敷の広さは各自が好きだけ木柵で囲めばいいそうです。屋敷の中で羊を放牧しながら、家ではなくゲルで暮らしている家族もいました。その中には、生活必需品と最小限の家具がきちんと整理され余分なものはないと聞かれました。モンゴル人は遊牧民であり、「土地」とか「物」にあまり執着が無いそうです。なるほど、ゲルの中はいつでも移動できる状態でした。モンゴル人の夢は、誰にも負けない一番



登校中の母娘

足の速い馬を持つことだそうです。農耕民族が「土」の民なら、モンゴル人は、さしずめ「風」の民と言ってもいいでしょう。村では畑というものを見かけませんでした。理由を聞くと、草を食うのは家畜であって、われわれ人間がたべるものではないと笑っていました。モンゴルでは、食の基本は、赤い食事と白い食事の2種類だそうです。赤い食事とは肉食であり冬の食事、白い食事とは乳製品で夏の食事です。夏の白い食事は、冬の間に身体に溜まった「老廃物」を浄化するのに非常に大切だそうです。診療所は青と黄色に塗られた頑丈なロシア風の木造建物です。健康推進を呼びかける羽織はかまの旭鷲山の大きなポスターが正面の壁に

張ってありました。スタッフから住民の健康や医療事情を教えてもらいました。翌日、この診療所でお産に立ち会うことになりました。この経験をもとに助産師の白坂さんが研究し大学院卒業論文にしました。

ハトガル村は、シベリアへの入り口にあるのでいろいろな国から旅人たちが泊まります。ロジは西部劇風で、フランス人がピアノの伴奏でシャンソンを歌っていました。明日、女性達だけで3頭の馬を連れてシベリアに向けて旅立つそうです。私たちもハトガル村での調査を終え、森林地帯を抜けて草原地帯を県庁所在地のムルンに向けて出発しました。

その後も私たちの旅は続いたのですが、すべてをまとめてリーダーの井田先生（甲賀病院）が「健康調査報告」としました。在日中のモンゴルの先生がこれは貴重なものだから本国にぜひ持ち帰りたいと言っていました。この紀行で印象深かったのは、モンゴルの人たちの少しシャイなところと、おおらかさです。羊や馬と一体となって自然の中で暮らしてきたことに由来していると思っています。

市立病院にも身近に羊が現れました。見ていただけで不思議に穏やかな気持ちにさせてくれます。病院のアプローチにもいろいろなハーブが植えられ季節の匂いを演じています。私には、この風景、香りがモンゴルのそれと重なり、しあわせを感じていますが、そう感じているのは私だけではないそうです。静かですが波紋が広がっています。このような環境を実現され、維持されている方々に賞賛と感謝の念をささげたいと思います。



遊牧民一家

～ご意見番より～

Q. BGMが流れていない時は寂しい。他の曲も流してほしい。

A. 今回、ご意見いただきましたBGMにつきましては、本院は有線放送をBGMとして使用しています。民謡・クラシック等の曲の分野の選択は限られていますので、ご要望の特定の曲を放送することができないことをご理解いただきますようお願いします。
 なお、現在の番組は、「イーजीリスニング」ですが、番組の変更は行えますので、意見箱への投書の内容を拝見しながら検討していきたいと思います。

Q. 会計の際、立って待つのはしんどい。座って待つようにしてほしい。

A. 外来診療費については、1階医事課の計算窓口にて順次ファイル一式を受け取り、その場で計算をしております。この間、患者さんには窓口にて立ったままお待ちいただいております。混み合う時間帯には、列に並んでお待ちいただくなど、ご迷惑をおかけしております。
 長時間列に並んでお待ちいただくことが困難な方については、フロアにおります案内係がお声がけし、患者さんに代わって計算の列に並ばせていただいております。どうぞお気軽に黄色い腕章をつけました案内係にお声がけください。

Q. 保険証の番号が変わるたびにコピーをとられる。他院ではない。

A. 患者さんの窓口負担額は、診療の内容と健康保険証の情報（負担割合をはじめ、保険者番号・記号・番号・有効期間等）により、患者さんのご負担額を計算しております。万が一確認に誤りがございましたら、患者さんにご迷惑をおかけすることとなりますので、コピーの有無に関わらず常に窓口で十分確認させていただくべきであり、コピーをいただけない時だけしっかりと確認すればよいというものではございません。
 また、保険給付分（健康保険の負担分）については、ご加入されている健康保険へ請求させていただきます。健康保険への請求の際には、健康保険へ提出する診療報酬明細書に健康保険証の情報も明記する必要があります。
 患者さんの負担額、および診療報酬明細書に明記する情報の根拠資料として、当院では、健康保険証が変更された際にコピーをさせていただきたく、ご協力をお願いしております。

Q. 各階エレベーター前の天井にミラーを設置してほしい。外にいる人が見えなくて閉まるボタンを押してしまいドアに挟まれそうになる人もいる。

A. エレベーター前天井ミラーについては、はじめてご意見をいただきました。今後、同様の意見が多数でございましたら、設備面の可能性を検討していきたいと思います。

誉 入院中大変よくして頂き感謝しています。結果はどうあれ、納得のいく治療をして頂けました。本当にありがとうございました。

誉 とても丁寧なわかりやすい説明をしてくださった先生、親身になっていただいてありがたく涙が出ました。心細かったけれど皆さまのおかげで頑張れました。本当に感謝いたします。

誉 看護師の対応について。何度も「大丈夫」と言ってくれてありがとうございました。



これであなたも10歳若返る!?

腰痛予防体操

その1 ～太もも裏側（ハムストリングス）のストレッチ～

リハビリテーション科 伊藤太久哉

三島 綾子(モデル)

かがやき通信の発行から前回までの3回にわたり“転倒予防”に焦点を当てた体操をご紹介しましたが、日常での生活でつまづく回数が減った、足腰が強くなったなど変化が出てきたことでしょうか？効果を実感してきた方もそうでない方も毎日続けて行うことが大切ですのでコツコツ頑張ってください。

さて、今回からはテーマを変え“腰痛予防”を目的とした体操を紹介していきたいと思います。腰痛は現代病と言われ悩んでおられる方は多く、その原因は様々ですが、その中でも加齢に伴う骨の変形や、腰周りの筋肉の衰えの関与は大きく、腰周りの筋力の維持や強化を図っていくことが今から出来る腰痛予防への第一歩です。今回は、太ももの裏側にあるハムストリングスと呼ばれる筋群のストレッチをご紹介します。ハムストリングスは骨盤が前傾するのを防いでいますが、この筋群が硬いと骨盤が後方へ引っ張られ、猫背となり腰への負担を強め腰痛を引き起こす原因となります。しっかりと伸びているのを意識しながら行って下さい。

良い例

運動方法

- ①椅子に腰掛け、片方の脚を前方の椅子の上にのせます。
- ②背中丸めず、腰をおこしてまっすぐ座ります。
- ③太ももの裏が伸びているのかわかりますか？20秒ほど伸ばします。
- ④左右とも行ってください。



良くない例

背中が丸まり、腰がねた姿勢となっており、この姿勢では十分にハムストリングスを伸ばすことは出来ません。しっかりと腰をおこし、背中をまっすぐにして座ることが大切です。



※現在治療中の方や、痛みのある方などは必ず医師の指示に従い、無理のないように行ってください。

診療予定表 (平成24年12月1日現在)

	診療科	月		火		水		木		金	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
1 内科	1診(総合部)	三瀬		安原		清水		宮本		清水(第1-3週) 綿貫(第2週) 消化器Dr(第4週) 月野(第5週)	
	2診(消化器)	来住		仲原		浅野		永岡		田辺	
	3診(消化器)予約制			田辺		保科 (腎臓内科)		横野			
	4診(消化器)予約制 午後再診	永岡		浅野		横野		仲原		来住	
	5診(血液)予約制 午後再診	浅井		吉川		浅井		吉川		吉川	
	6診(糖尿病/内分泌) 午後再診予約のみ	矢野		黒江		矢野		黒江		菱澤	
	7診(糖尿病/内分泌) 再診予約制	松尾(第1-2-3週) (糖尿病) (完全予約制)		原田(第1週)・菱澤(第2・3週) 田原(第4週)・近藤(第5週午前) 原田(第5週午後)		黒江		原田		矢野	
2 循環器科	1診(午後は予約のみ)	綿貫		下司		中野		日村(第1・3-5週) 中野(第2・4週)		日村	
	2診(予約制)	日村		日村		池田				池田	
	3診(予約制)	宮澤		P.M.外来 (第1-3週)		根本		下司		根本	
3 脳神経外科	1診(予約制)	金子(予約のみ)		中久木		岩室		丸茂		金子(予約のみ)	
	2診	中久木		宮田		丸茂		宮田		岩室	
	1診(午後：再診予約制)	小林/宇佐美		近藤/横野		上村		宇佐美/小林		江川	
4 神経内科	2診再診(予約制)										
	1診初診	堀		福田		仙石		山内		光石	
	2診再診(予約のみ)	福田		仙石							
5 整形外科	3診再診(予約のみ)					光石		堀		山内	
	1診	笹尾		笹尾		木村		木村		伊藤	
	2診	伊藤		木村		伊藤		笹尾		木村	
6 形成外科	予約再診	伊藤/笹尾/ 木村				伊藤/笹尾/木村 横濱外来					
	1診	山本		本田		山本		本田		戸田	
	2診	戸田		山本		戸田		山本		本田	
7 皮膚科	3診					戸田		戸田		山本	
	1診	林(第2・4週)		内田		林		内田(第1-4週)予約のみ		重森	
	2診	月野		渡邊外来 (第3週・11週) 完全予約制		渡邊		月野		渡邊	
8 呼吸器科	1診(完全予約制)					西山(前診)		西山(15時まで)			
	2診										
	心療内科										
9 緩和ケア科	予約制	黒丸								黒丸	
	1診(初診)	赤松		寺村		赤松		李		安田	
	2診(再診)	李		安田		小松原		寺村		赤松	
10 外科	3診(再診)			大石				平田			
	乳腺外科(予約制)			○							
	肛門外科(予約制)	李									
11 泌尿器科	1診	沖中		和田		長谷		和田		長谷	
	2診	長谷		成田		多和田		沖中		和田	
	3診	高淵				高淵				藤井(第)	
12 麻酔科 ペインクリニック	1診									古野	
	2診										
	3診										
13 眼科	1診(午後は予約のみ)	平井		平井		平井		休診(手術のため)		平井	
	2診										
	3診										
14 歯科 口腔外科	1診	山田		河岡		前田		磯部		河岡	
	2診(予約のみ)	河岡		山田		河岡				山田	
	口腔衛生指導(完全予約制)	○		○		糖尿病・口腔ケア 教室(入院のみ)		○		○	
15 専門外来 (完全予約制)	専門外来(完全予約制)	顎関節・口腔腫瘍 外来 藤村		顎・顔面・顎・口腔腫瘍 山田(第4週再診)		顎・顔面・顎・口腔腫瘍 山田(第4週再診)		口腔内関連症状 外来			
	外来手術(予約のみ)	○		○		○		○		○	
	学童外来	○		○		○		○		○	
16 耳鼻 いんこう科	1診	片岡		片岡		片岡		片岡		片岡	
	2診										
	3診										
17 小児科	1診(午後は予約外来)	石上		石上		神谷		西島		石上	
	2診(午後は予約外来)	西島		安部		神田		神田		神谷	
	3診	安部				神田		神田		神谷	
18 産婦人科	健診センター							手助産婦 西島		手助産婦 石上(第2週) 安部(第4週)	
	2診					黒矢(第1-3週) 半田(第2-4週)				堀川	
	3診	阿知波		阿知波		阿知波		阿知波		阿知波	
19 放射線科 画像診断科	1診	藤原		藤原		藤原		藤原		藤原	
	2診	藤原		藤原		藤原		藤原		藤原	
	3診	藤原		藤原		藤原		藤原		藤原	

※診療受付時間は、初診・再診：午前8時から午前11時まで(予約の方を除く)
※歯科口腔外科の再診は、予約制とさせていただきます。

※整形外科・歯科口腔外科・神経内科の初診は、紹介状をお持ちの方のみとさせていただきます。

院内季節の花だより



チェリーセージ
時期：6月～10月
原産地：メキシコ
在り葉：艶やかな花
場所：リハビリ館前



オキザリス
時期：10月～3月
原産地：南アメリカ
在り葉：緑色の葉に
場所：救急入口付近
アプロード



アメリカンブルー
時期：6月～11月
原産地：南・北アメリカ、東部アジア
在り葉：あふれる花
場所：正門玄関ロビーの
ソファの前



バーベナ
時期：4月～11月
原産地：南・北アメリカ
在り葉：花言葉「一致協力」
場所：救急センター前、
正門駐車場



ボウエンム
時期：7月～11月
原産地：ヒマラヤ
在り葉：赤い花
場所：救急入口付近アプロード



彦根市立病院

〒522-8539 滋賀県彦根市八坂町1882
TEL:0749-22-6050 FAX:0749-26-0754

外来受付時間:

午前8時から午前11時(予約診は午後4時まで)
休診日:土曜日、日曜日、祝日および年末年始